

3-13 セツ森里山環境学習林保全事業

事業目的

県のほぼ中心部に位置し、「里山環境学習林」に位置付け整備した大和町セツ森の県有林において、その利用環境や生物多様性を保全し、県民が身近に里山とふれあう機会を創出することにより、豊かな自然への理解と関心を深め、県民参加による里山の環境改善への気運の醸成を図ります。



セツ森里山環境学習林

事業効果

CO2削減効果	25 t-CO2
その他 (森林整備面積)	8.2ha

事業内容

【平成29年度事業費】 2,000千円

【事業量】 刈り払い6.5ha 他 【実施主体】 宮城県

【事業内容】 整備された里山環境学習林内(広葉樹林内)において、ササ類の侵入を抑えるため、刈り払いや一部天地返しを行います。



整備された広葉樹林と遊歩道

現状



階段周辺に繁茂するササ類

セツ森里山環境学習林は、平成26年からの2カ年で整備を実施し、ボランティア団体や企業等による環境教育活動・自然観察会及び里山管理技術の実践活動をする準備が進みつつありますが、その活動の中心となる広葉樹林において、ササ類の侵入が見られることから、環境を維持し、生物多様性を保全する作業が必要となっています。

今後は企業等によるネーミングライツなど、多様な主体と県との協働で保全作業を進めていくこととなりますが、その活動が本格化するまでの当面のところ、事業を行うことが必要になっております。

税導入後のイメージ

今後は、研究機関、NPOやボランティア団体と共同で里山管理の技術講習会、県民の自然観察や森林セラピー、体験学習会等の利用に供します。また、企業による森づくりにより事業区域内の植林や森林整備を行うなど、森づくりに多様な主体の参加を促します。



里山林の観察会



県民参加の植樹活動